広報つるが　平成21年7月号
No.809（平成21年6月9日発行）
発行：敦賀市　編集：広報広聴課
印刷：若越印刷株式会社

〒914-8501 福井県敦賀市中央町2丁目1番1号
TEL 0770-22-8112／FAX 0770-22-8174
E-mail kouhou@ton21.ne.jp

●広報つるが　毎月第2火曜日発行
●行政チャンネル（RCN 4ch・204ch）
毎日6時～24時放映（週3回入替）
●市政広報ラジオ（敦賀FM放送 77.9MHz）
平日 5分番組・12回放送
●HP http://www.city.tsuruga.lg.jp/

7月

日	月	火	水	木	金	土
休日急患診療 詳しくは18ページへ	健康 ★マークは会場・問合せ 健康管理センター ☎25−5311 ❋母子健康手帳を持参	相談 詳しくは19ページへ 行事 詳しくは（ ）のページへ	**1** 心配ごと相談 法律相談 人権相談 1日がん検診 経済センサス基礎調査（P15） 育児サポート教室(P16)	**2** 消費生活相談 ママパパセミナー★（体験コース）13:30～15:00	**3** 敦短七夕コンサート（P12） 七夕まつり（P16）	**4** サマー求人企業説明会（P12） 人間関係学講座4（P13） パパと遊ぼう(P17) アニメ世界昔ばなし（P17）
5 海開き式（P12） 和久野医院 ☎22-3080	**6**	**7** 1歳6か月児健診★ 受付 13:00～13:30	**8** 心配ごと相談 行政相談 3歳児健診★ 受付 13:00～13:45 博物館夏休み企画展～9月6日（P12）	**9** 特定健康診査 肺がん検診 歯ッピー検診	**10**	**11** 社会を明るくする運動敦賀大会（P13） 生涯学習講座(P14) おはなしポンポン（P17） 膠原病友の会15周年記念大会（P18）
12 国立病院機構福井病院 ☎25-1600	**13**	**14** 結婚・婦人相談 すくすく健康相談（P16）	**15** 心配ごと相談 法律相談 人権相談 3歳児健診★ 受付 13:00～13:45 パソコンプチ講習（P15）	**16** 消費生活相談 総合健診 2歳の歯の健康セミナー★ 10:30～12:00 1歳の親子歯ッピーセミナー★ 13:00～14:30	**17** 離乳食セミナー★ 13:30～15:30 暮らしの市民教室（P11） ママのおひざ(P17)	**18** カラーコーディネート講座Ⅲ（P14） アニメシアター(P17)
19 心配ごと相談 法律相談 せきクリニック ☎21-2000	**20** 海の日 加藤胃腸科医院 ☎25-6888	**21** 結婚・婦人相談	**22** 心配ごと相談 行政相談 年金相談 パソコンプチ講習(P15) 育児サポート教室(P17) おはなしわたげ(P17)	**23** 顕微鏡で見る中池見～25日（P3） パソコンプチ講習（P15）	**24**	**25** 生涯学習講座(P14) 市民歴史講座(P15) おはなしポケット（P17）
26 神谷医院 ☎22-4874	**27**	**28** 結婚・婦人相談 7か月児すくすく相談★ 受付 9:30～10:00 13:15～13:45 すくすく健康相談（P16）	**29** 心配ごと相談 1歳6か月児健診★ 受付 13:00～13:30 パソコンプチ講習（P15）	**30** 植物標本づくり～8月1日（P3） パソコンプチ講習（P15）	**31**	

上記カレンダーは5月31日現在のものです。今後の行事などは行政チャンネルでおしらせします。

今月の表紙　献穀粟27年ぶりに敦賀で挙行！

新嘗祭（宮中でその年の収穫を感謝する祭儀）に献納する粟の種をまく「献穀粟播種式」が5月27日に、米澤賢治さん（御名）の畑で行われました。敦賀市での献穀粟は昭和57年以来27年ぶり（献穀田は平成3年に実施）。この日は、白装束に烏帽子姿の米澤さんとともに、河瀬市長や早乙女らが種をまきました。

人口 68,912人（前月比＋72人）**世帯数** 27,662世帯
男 33,785人　**女** 35,127人　（平成21年5月29日現在）

編集後記

▶編集作業中に私がついやってしまうこと。❶画面を見つめたまま動かない（悩んでいるとこうなる）❷姿勢がどんどん猫背になる（集中すればするほどひどくなる）❸髪の毛をいじっている（考え込んでいるときの癖なのか？）…ある日ふと隣を見たら、（赤）さんが全く同じことをしていました。人の癖って面白いですね。でも姿勢が悪いのは直さなければ。2人とも。（み）

▶広報の仕事をしていると、思いがけない出会いをすることがあります。先日も中池見で、樫曲のあるおばあちゃんと会いました。偶然にも出身が同じ集落で「○○さんとこの息子さんか！」という話から始まり、思い出の人や場所など、会話が盛り上がりました。▶取材前にはなかった新しいつながり。これからも、人との出会いを大切に、広報マンとして市内を駆け回ろうと思います。（赤）